



議会だより

でいすかす

72号

発行・登別市議会 / 編集・議会だより編集委員会 / 発行日・2014.2.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます

将来の事業・政策についての「市長私案」に質問が集中！

平成25年第4回定例会

平成25年第4回定例会が、平成25年12月6日から12月19日の14日間の会期で開催されました。一般質問には10名の議員が登壇し、市長が掲げる市政運営の取り組みや地区懇談会での「市長私案」、災害に強いまちづくりなどについて、活発な質疑が行われました。

主な議案

- ①平成25年度一般会計補正予算（第5号）、平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、平成25年度学校給食事業特別会計補正予算（第2号）、平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）、平成25年度カルルス温泉スキー場事業特別会計補正予算（第1号）
 - ②土地開発公社の解散、第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請
 - ③土地開発公社の解散に伴う関係条例の整理に関する条例の制定、鳥獣被害対策実施施設設置条例の制定、下水道事業の設置等に関する条例の制定、特別会計条例の一部改正、市職員の給与に関する条例の一部改正、市火災予防条例の一部改正
 - ④西いぶり広域連合規約の一部変更
 - ⑤市道路線の認定、市道路線の変更
- また、意見書については「JR北海道の重大事故・トラブルの原因究明と安全運行を求める意見書」など5件を可決しました。



平成25年10月22日から24日までの3日間の日程で、平成24年度決算審査にかかる予算・決算委員会を開催し、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、学校給食事業特別会計、公共下水道事業特別会計および一般会計歳出（各款ごと）、一般会計歳入（全般）について審査を行い、16名の議員が質問しました。国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、一般会計については、挙手採決の結果、賛成多数により原案認定し、他の会計については、全会一致で原案認定および可決しました。各議員の質問内容については次ページに掲載します。

予算・決算委員会（平成24年度決算審査）

栄町保育所民営化へ平成26年度事業者選定！

平成25年12月17日に、平成25年度一般会計・国民健康保険特別会計・学校給食事業特別会計・公共下水道事業特別会計・カルルス温泉スキー場事業特別会計補正予算について審査を行いました。

主な質疑

- 一般会計補正予算
 - ・クリンクルセンター運営管理費について
 - ・栄町保育所民営化構想の協議内容について
 - ・児童デイサービスセンターのぞみ園運営業務委託について
 - 公共下水道事業特別会計補正予算
 - ・雨水被害が多い若山地区での浸水対策について
- などの質問に対してそれぞれ答弁があり、各議案について原案可決しました。

予算・決算委員会（平成25年度補正予算審査）

高橋 正美

質 大型事業推進プランが発表されたが、老朽化している給食センターの改築については検討されているのか。

答 平成25年度に耐震診断を行い、その結果に基づいて、耐震改修工事による延命化を図るか、新設するのかを年度内に検証することとしている。

渡辺 勉

通学合宿の取り組みについて、効果を見ているが、参加料6千円という金額は冷や込んだ経済状況の中で高額と考える。高学年ともなれば、家計を考え、参加しなくても我慢する子も多くなる。考える。「生きる力」をはぐくむ体験というなら、家計を気にせず参加できるように、来年度から参加費は無料にすべきと求めた。

石山 正志

質 し尿処理手数料に関し、現状の認識と、今後の対応を聞きたい。

答 し尿処理単価は、平成14年度に40円当たり27円に設定以来変更がない。新たに「し尿投入施設」も新設されており、処理負担や消費税が8%へ増税される点も考慮し、改定時期を検討している。

佐々木 久美子

質 介護保険料普通徴収における第2段階の滞納者10人の方の滞納理由を把握しているか。

答 把握していない。

質 経済的理由もあるのではないか。

答 一概に非課税世帯だからといって低収入とは言えない。

二瓶 秀幸

職員研修経費、野犬掃討・畜犬登録等経費、地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金、観光PRキャラクタ―事業費、市民プールバスパック事業委託料の5事業について質問し、漁港まつりにおける地場水産物の格安購入のための補助金継続と「ゆるキャラ」活動の拡大などを提案した。

佐藤 弘子

質 登別地獄まつり半世紀記念事業費について、全市観光と市内経済活性化を願う視点から、まつりへの市民参加で市民交流と地域活動の活性化を誘発し、自らが来泉PRに努めるなど3力年の事業の成果と実績を考慮し、今後の実施計画を問う。

答 次年度以降も事業継続の方向で検討する。

工藤 俱二雄

「総務費」広報広聴経費、私立幼稚園学校給食指導経費、「民生費」戦没者追悼式関係経費、「農林水産事業費」西いぶり食の魅力向上研究会負担金、「土木費」道路排水対策事業費、「社会教育費」市民マイプラン講座経費、市民が記憶する歴史収集事業費について幅広く質問した。

杉尾 直樹

質 市内において暴力団が関係する事件が連続して起きたことから「暴力団排除条例」制定についての考えをただした。

答 各種の事件を受け市民一人ひとりの暴力根絶への決意を新たにしたが、条例制定については市民や事業者の理解を求めながら近隣市町の動向を踏まえたい。

木村 俊子

事業系の生ごみから生産される「たい肥」について質問。

20㍓のたい肥の販売価格は20円であるにもかかわらず、原価はなんと4千900円である。平成24年度に20㍓は1千879袋、5㍓は60袋販売しているとの答弁があった。今後、受益者負担や見直しを考えるべきであると訴えた。

沼田 一夫

①「市民自治推進委員会」については、これまでの経過と、設置されていない理由について。

②「登別市青年就農給付金」と「きらり健康ふれあいウオーキング」については、これまでの実績と今後の取り組みについて質問し、それぞれ答弁があった。

米田 登美子

質 防災対策強化事業費における自己備蓄の市民周知について、現状の取り組みの強化や周知方法の拡大を図ることは、検討されているのか。

答 市役所・市民会館での非常時持ち出しセットの展示や研修会などで、さらなる啓発を図れるよう工夫し周知に努めた。

山田 新一

質 友好都市や姉妹都市の提携について今後どのような考えを持っているのか。

答 現在は、白石市と姉妹都市、デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市、中国広州市と友好都市、海老名市とトライアングル交流をしている。今後は市民団体等の交流が高まった時点で検討するが、基本的には交流都市の拡大は考えていない。

村井 寿行

質 有害鳥獣駆除経費について、鳥獣被害対策実施隊とは何か。また今後の対策は。

答 北海道猟友会室蘭支部を実施隊の隊員と考えており、条例を制定し、市が隊員として任命、実施隊を組織することし、体制が整った段階で年に2回から3回、銃器による大規模な駆除を考えている。

木村 純一

子育て支援事業（ひろば型）運営委託料に関し、

①事業目的・事業内容・事業効果・これまでの取り組みの経緯などについて

②事業者の選定方法と委託期間について

③事業を進めるうえでの課題について

④今後の事業展開についてなどを質問した。

鈴木 広之

①救急医療啓発普及事業負担金

②橋梁長寿命化計画策定委託料

③広域幹線・市内幹線道路網の整備

④学校開放事業費

など4項目にわたり、事業の内容や効果・今後の展開などを質問し、それぞれの事業の必要性について確認した。

松山 哲男

産業クラスター構築事業の総括と今後の産業構造の取り組み、観光協会への助成金などの会計処理や事業計画の把握、市営住宅改修事業に絡む今後の住宅政策などをただした。また、職員の超過勤務の要因と職員配置などの関係、地方交付税の意義と位置付けなどの考えを問った。

一般質問

でいすかす



質 犬などの散歩によるふん尿の被害で困っている方々がいるが、相手側へ周知するため、希望者に「ふん害防止のための啓発用看板」の貸し出しはできないか。

答 啓発用看板について、当市では、犬の散歩コースとして利用される河川敷や公園などに設置している。

また、希望する各町内会等に貸し出しを行っている。

なお、数に限りがあるが、個人からの貸し出し希望があった場合には、在庫状況をみながら対応していく。



ペットの飼育に
村井 寿行



登別市がん対策に
木村 純一

質 当市の各種がん検診受診率の実態と、大腸がん・子宮頸がん・乳がんなどの検診無料クーポン券が果たした役割と成果や、本事業の評価と課題および今後の取り組みについて。

答 「がん検診推進事業」開始前後の受診率は、子宮頸がん検診は4・7%から20・8%、乳がん検診は5・0%から20・6%、大腸がん検診は2・0%から16・3%とそれぞれ増加した。まだ検診を受けていない対象者に対しては、検診の受診勧奨を行い、受診者が増えるよう取り組んでいる。



市長私案について
山田 新一

質 地区懇談会で示した「市長私案」について、市長発言の意図と今後どう進めて行くのか。また庁内協議はしているのか。

答 多くの市民が中長期のまちづくりについて、目標を定めて夢あるまちの実現を語り合っことは大事なことである。就任以来市民からのまちづくりの思いを拝聴して、庁内の意見を基に重ねたアイデアの一部を「市長私案」として話した。今後は地域で議論を重ねていただき、地域の方々の求めに応じて協議の場を設置し、市民会議や庁内会議の検討材料としたい。



災害弱者への
支援対策について
佐々木 久美子

質 災害時要援護者の避難対策および名簿作成などの取り組みについて。

答 要援護者本人の手上げ方式や民生委員等からの同意方式による登録であるが、現行の制度では登録が進んでいない。

こうした状況で新たに「避難行動要支援者名簿」の作成が市町村に義務付けられるとともに、名簿を活用した地域の共助力による、連携ある避難支援がなされるよう定められた。

今後は社会福祉協議会による「小地域ネットワーク事業」を活用し地域全体で取り組んでいく。



国民健康保険税の
一万円引き下げを
渡辺 勉

質 来年度の予算編成にあたり、独自のアンケート調査を行ったが、その約2割の記述が国民健康保険税・介護保険料についての内容であった。その中に「高すぎる。支払いの限界を超え、食費を削り、近所付き合ひも制限される。せめて今の半分くらいの額に。」との声もあることから、今後行われる国保運営協議会において、市民の切実な声を反映すべきでは。

答 市内経済が厳しい状況は十分認識している。健全な国保事業の推進のため、予算編成に合わせ、向こう3九年の中期財政見通しをたてる作業を進めている。



将来予測を持った
ビジョン提示を
松山 哲男

「時代の大きな転換期に向けた今後の行財政の取り組みについて」を大綱項目とした。人口減少や厳しい財政状況などに直面する今、今後の行財政運営の姿勢やわがまちの進む方向性などの明示が大切なことから、①地方交付税減額の可能性がある職員給与削減撤回を、職員の士気低下とした理由付けの考え②中期財政見通しの算定根拠③大型事業推進プランと新たな公共施設整備方針との関連性④十分な庁内協議がなされていない、地区懇談会における市長私案提示の問題点などをたどした。



市民主体の観光振興の
取り組みについて
杉尾 直樹

質 観光振興を通じて市内全域整備の促進と活性化を目指し、さらに誘客も促進すべきとの観点から数点の質問をした。

質 温泉地区の道路などのインフラ整備についての現状と今後の方針について。

答 現状の道道整備に引き続き今後も道路や歩道整備を行う。また駐車場その他についても市有地等の利用を検討する。

質 第50回を機に多くの市民が参加した地獄まつりの今後と全市内整備について。

答 まつりへの参加促進は継続する。また新幹線開通にも合わせ広域的な整備を検討する。